私たち世代の責任

これまで浦安市は、若くて財政が豊かな街と言われてきました。しかし、少子化や人口減少の急激な進展、超高齢社会への突入など、日本が直面している課題は、わが街においても、深刻かつ喫緊です。
さらに、生産年齢人口の減少は、浦安市の財政にも大きな影響を与えることが推測されています。
こうしたなかで、私は教育政策こそが浦安の将来の発展の鍵を握ると考え、浦安の教育改革を志し、政治活動を続けてきました。
しかし、地元での活動を通して痛感したことは、現在の浦安市議会が本来の行政のチェック機関としての役割を果たさず、行政の追認機関と化していることです。そしてそのツケが市民生活に及んでいることです。
この状況を看過するわけにはいきません。
そこで、私折本たつのりは、この浦安市から、議会本来の機能を取り戻す活動をしながら、「国家百年の計」である教育の改革に取り組む決断をいたしました。

プロフィール

折本たつのり
昭和59年(1984年)浦安市堀江に生れる
富岡保育園・いまがわ学園・吹上幼稚園出身
日の出小学校・中学校卒業・早稲田大学高等学院卒業・
早稲田大学政治経済学部卒業
元早稲田大学雄弁会幹事長。インドで3年間、日本語学校経営
会社役員。現在、北栄在住。家族は、妻と一女

座右の銘
天下一人を以て興る